



令和5年度 12月号 校長 饗場 宏

写真は左から、児童会活動「東小6輪ピック」、6年生秋の修学旅行、児童会役員選挙立会演説会の様子です。

令和5年度 甲府市立東小学校 保護者アンケートにつきまして(御礼)(報告) 地域とともにある東小学校

保護者の皆さまにおかれましては、ご多用の中にも関わらず、保護者アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

昨年度のアンケートでいただいた「授業参観の在り方」「運動会や集会、縦割活動などの活性化」「児童の持ち物の軽減化」「おたよりが届かないことの問題」といったご意見につきまして、本年度はそれらの解消・改善を図ってまいりました。「あいさつの活性化」など継続して取り組んでいたりと、「旗振り」など継続検討すべきであったりするものもございます。このアンケート結果につきましても、本校の教育活動がよりよい方向に向かうために保護者の皆さまと協力・協働・相互理解させていただくための資料とさせていただきます。

本号では、アンケートの自由記述欄へお寄せいただいたご意見を紹介し、学校からの回答を添えさせていただきます。枚数も多くなってしまいましたが、ご一読いただければ幸いです。また、選択肢によるアンケート結果につきましては、児童と教職員によるアンケート結果と併せて分析し、おって、本校のホームページにて報告いたします。なお、学級内や担任、児童の個に関わる内容等に触れたご意見がありましたが、ここでの紹介は控え個別対応をさせていただきます。重要な情報をありがとうございました。

地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思っております。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

学校行事に関わるご意見

今年南中の学園祭の日程と5年生の授業参観の日程が被りました。兄弟がいることが想定される近隣の学校と行事が被らないように調整していただきたい。
今回、5年生の授業参観と南中の文化祭が重なってしまい、授業参観に行けずとても残念でした。兄弟が南中へ行っている生徒も多いので、できる限り行事が被らないようにしてほしいです。
コロナで縮小した活動を少しずつ形を変えながらも復活させていっていただけたらいいなと思います。
学校の行事などの写真が買えるようになればよい
連合音楽会について。コロナ禍である以外に、「教員負担を減らすため」に、どこか会場に行くのではなく移動のない事前録音をこれからも続ける考え、と伺いました。先生方の負担を減らすことには賛同しますが、会場に行って撮り直しのきかない本番一回限り、や、会場の雰囲気全体を含めて対面で音楽に親しむ、という経験を子供たちに積ませてあげてほしいです。教員負担軽減には賛成ですので、運動会を各学年二種目で午前中で終わる形式や、家庭訪問でなく学校での個別懇談にする、というのは続けていただきたいです。
他の地域に比べて運動量が少ないような印象を受けます。体育以外にも楽しく運動する機会があればありがたいです。

(学校より)

南中学校との行事の重複につきまして、反省いたします。近隣の小中学校や幼稚園・保育園等との全ての行事重複回避は不可能ですが、とりわけ南中学校とは重複がないように留意し、一層、両校間での連絡を密にしていきたいと思っております。一方、小学校は6学年あり、その全ての学年が南中学校の行事と重複させないということは難しさもあります。そのような場合は、例えば各学年の授業参観等の設定日や時間が変則的になるなどの状況が生じるかもしれませんが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

5月8日に感染法上の位置づけが変わった以後、コロナ感染症対応は大きく緩和され、本校においても授業参観、運動会、児童会活動(縦割り活動を含む)、参集しての集会等、制限を軽減・緩和しながら実施し始めました。一方、コロナ禍を通して学んだことも多くあります。それは、これまでの活動や行事が、本来の目的や本質を逸脱し、不要な負担がいかに多かったかという気づきです。こうした気づきをもとに、運動会の日程や時期、家庭訪問の個別懇談への変更、児童総会のオンライン及びペーパーレス開催等、またPTA活動に関わりましても、学校委員会等のオンライン実施、PTA奉仕作業で行ってきた側溝清掃の業者委託等といった見直しを図ってきました。コロナ禍前は気づきもしなかった、あるいは遠い先のことと置いていたことが日常化・一般化してきています。こうした気づきや流れを勘案し、全ての活動や行事をコロナ禍前と全く同じように復活させるのではなく、児童数や家庭数の減少、教職員数の縮小といった物理的な面や増加している学習内容という面、長期化する猛暑や季節外れのインフルエンザの流行等を考慮しつつ、教育的成果と共に持続可能という視点を持って展開していきたいと思っております。

学校の行事写真につきましては、卒業アルバムを委託している業者が撮影したもの(林間学校・修学旅行・陸上記録会等)につきましては、業者の見本を廊下に掲示し、授業参観の折などに保護者の皆さまに見ていただき注文いただいております。その他の行事で教員が撮影した写真は、記録として保管をしており、主に卒業アルバムに掲載しています。かつて各行事の写真を教員が見本を張り出し、業者を探し、注文を取り、個別に販売するというを行っていた時代もありますが、教職員の職責の本質ではないことから、4年前のPTA学校委員会や学年総会で承認いただき、現在は行っておりません。可能性として、注文や販売をPTA役員の皆様にもお願いすることも考えられますが、保護者負担軽減の流れとも逆行します。低学年からの集合写真等は卒業アルバムに掲載しますので、楽しみにお待ちください幸いです。

連合音楽会につきましては、昨年度末に主催研究会から保護者宛に「実施方法の変更」についてのお知らせが発出されました。主要な変更は、近隣の学校が一校に参集しないという点です。その理由として「参集しないため、児童の実態や各校の教育課程に合わせて練習や準備の時間が設定できる」「動画として記録し配信するので、学校規模や会場の規模、発表形式にとらわれず実施できる」「会場校に楽器を集めることや児童の会場移動のための手段や労力を必要としない」などが説明されています。結果として、参加校による話合のための出張や会場校への楽器運搬、経路の下見、交通事故や天気を心配しながらの他校への徒歩移動など、教員や児童の負担が減ったことは確かです。また、児童は各校の工夫を凝らした演奏映像を、いつもの教室で落ち着いて鑑賞することができました。もちろん、多くの観客を前に演奏することは確かな教育的成果がありますので、本校なりの工夫として、保護者に向けた演奏の機会は今後とも設定していきたいと思っております。

運動量の少なさにつきまして、5月8日にコロナ感染症対応が緩和されましたが、続けて6月から10月上旬にかけて熱中症への対応が求められたことにより、外遊びや活動量の多い体育が制限される日が続き、運動量の低下が危惧される期間が続きました。この間、感染症や熱中症への危険から児童を遠ざける対応を優先させたことにつきましては、是非ご理解をお願いいたします。10月上旬以降は、体育以外に、児童会の縦割り活動、体育委員会の縄跳びの取組、陸上記録会の練習など展開をしています。今後とも、運動が実施可能な状況においては積極的に体力向上を図ってまいります。また、地域の運動会や各種行事なども再開されています。地域との連携・協働も大切にすべき時代かと考えます。学校以外で実施されるこうした機会への参加をお子さんにお勧めくださいますよう、お願いいたします。

運動会に関わるご意見

運動会の時に子供用テントなどを用意して頂きたいです。10月末とはいえ日向は暑く少し心配でした。
運動会は、やはりお弁当を家族で食べる機会を作って下さると良いかなと思います。
コロナ後運動会の規模が縮小されていますが、時間内でできる範囲でいいので全校代表リレー等復活させて欲しい。
運動会が涼しい時期の開催で助かりました。担任が子ども達の様子をよくみて助言している事がわかり、安心して子どもを任せられます。そして、イベントなどを拝見している時、隣のクラスの担任との連携がよくとれているように感じました。
先月の運動会は、子供達の生き生きとした姿に喜びと感動がありました。良い時間を過ごす事が出来、先生方、ありがとうございました。

(学校より)

本年度の運動会は、雲一つない秋晴れのもと…、ではありましたが、時季外れの日差しの強さや気温の高さでした。昨年度は全く心配なかったことから、思いをめぐらすことが至りませんでした。対応策として、全学年の座席位置にテントを設営(約15梁)することが考えられます。この場合、以前のように、前日準備として大勢の保護者の皆さんにお集まりいただき、設営をお願いすることとなります。しかし、運動会を10月最終週に設定した理由の一つに、テント設営を必要としない時期に実施することにより、保護者負担を減らす、という意図がありました。そこで、テントを設営しなくても日差しや気温の危険性を軽減することを意図して、さらに日程を遅らせての実施が可能かを検討していきます。この場合は、他の行事との関連から、11月の第一土曜日を想定します。参考までに来年度のカレンダーでは、11月2日(土):運動会、3日(日):お休み、4日(祝日):お休み、5日(火):繰替休日となります。この方向性については、PTA学校委員会や学校運営協議会でご意見を伺いながら、検討していきます。お弁当につきましては、「学校行事」の項での説明に照らしてご理解いただければ幸いです。種目につきましては、種目を増やす可能性の検討と、可能な場合は全児童が参加できる内容を検討してまいります。

学校からのお便り・連絡に関わるご意見

14について連絡事項などはわかる。スクリレになって電子媒体なのでお便りもわかりやすい。印字のものは正しく印字されてなくてよみにくいものがある部分があり残念だった。これも電子媒体にならなかったのかと思う。
今はペーパーレスな時代ですが、下校時刻や給食の献立などは以前のように紙媒体でいただけるとありがたいです。
スクリレのことです。献立表がとても見づらいので紙にしてほしいです。子供に聞かれて携帯から見る手間が掛かります。学年だより等字がびっしりで読みにくいので適度に空白行を入れてほしいです。
あんしんメールとスクリレの使い分けについて。予算等の制限のためかもしれませんが、使い分けが統一されていないように感じるがありました。また、どちらのアプリで配信されたか分からなくなることもあります。あんしんメールは下校時刻の変更や不審者情報、給食の急な変更などの「安全安心に関わること、至急の連絡」に特化し、それ以外の、定期的なものや緊急性の低いもの(保護者アンケート、学年だより、地域住民のイベントなど)はスクリレ、などと使い分けのルールを統一して保護者に周知いただけると、どちらのアプリを探るか迷わなくなり利便性が上がると思いますので、ご検討いただけると幸いです。
感染症の有無をメールで知らせたい。毎日出なくていいので、全校で今何人います、学年ごとで今週何人とかでもいいので。
「よくわかる東小」に、水筒の項目をあらかじめ載せておくとよいと思います。
次月次週の予定の配信が遅いと感じています。

(学校より)

昨年度の本アンケートで「お便りがあったとの事ですが持ってきていない」というお声が寄せられ、その改善案を先進校に求めました。収集した各種情報から「スクリレ」による電子配信が本校にふさわしいと判断し、本年度から本格実施することといたしました。保護者の皆さんのお手元の端末に直接お届けできることから、昨年度アンケートでご指摘いただいた課題は解決できたものと考えます。しかし、今年度いただいたご意見のように、紙の方が便利な場合もあるかと思えます。スクリレ導入時にも説明いたしました。希望があるご家庭には、スクリレに加え紙版でも配付しますので、「献立表希望」「下校時刻表希望」の旨、担任までお知らせください。なお、スクリレの配信文書を、一端ダウンロードいただくと読み取りやすくなりますので、お手数ですがお試しいただくと幸いです。また、将来的には、PDF文書の配信ではなく、配信に特化したシステムの導入を市教委とも相談するなどしていきたいと思えます。ちなみに、スクリレの導入により、おかげさまで9月末現在で前年度比30%の紙の節減ができました。スクリレで貯まった学校ポイントの用途につきましても、PTA学校委員会にお諮りします。

安心メールとスクリレの使い分けにつきまして、これまで十分な説明を行ってこなかったことに気づかせていただきました。スクリレはお便り、安心メールは緊急連絡・PTA等の業務連絡と使い分けを意識してきましたが、なお一層、徹底します。ただし、保護者アンケート等のURLは安心メールでしかお伝えできない状況ですので、改善策が見つかるまで、ご了解いただければ幸いです。

感染症の罹患状況につきましては、保護者の皆さまも大変関心があることと思えます。昨年度来、健康状況が危惧される際は、「児童の健康状況につきまして」「新型コロナ感染症予防に関わりまして」等のお便りを配付し、罹患児童数や行事の変更、学級閉鎖の実施等をお伝えしてきました。また、12月のある一週間を例にすると、月：インフル0人・コロナ0人、火：インフル0人・コロナ0人、水：インフル0人・コロナ0人、木：インフル0人・コロナ0人、金：インフル0人・コロナ1人という状況でして、全家庭にお伝えすることを躊躇してしまう状況もあります。また、罹患者数が少人数の場合は罹患した児童が特定できてしまう可能性もあります。もちろん、頭痛や腹痛、風邪、アレルギー等で欠席となってしまう児童はいますが、こちらも共有すべき情報とは考えません。今後も、集団感染が危惧される状況となった場合は状況をお知らせいたします。また、全校的に良好な健康状態にあるときは、引き続き連絡を控えさせていただきますこと、ご理解ください。通院等の際に学校の健康状況を把握されたい場合は、電話等でお問い合わせくだされば幸いです。

水筒に関する確認事項につきましては、次号の「よくわかる東小」に掲載いたします。次号では「新型コロナ感染症対策」の欄が不要になることなど、内容を改良してまいります。

予定の配信・配付につきましては、訂正や修正情報を発出することのないように吟味しつつ、可能な限り早くお伝えすることを心がけています。ご理解をお願いします。早急に確認したい次週の時間等ございましたら、学校へお問い合わせください。

新聞についてのご意見

新聞を見たいという日がたまにあるのですがうちでは新聞をとっていないので図書室で気軽に読めるようにしてあげて欲しい。

(学校より)

昨年度も、新聞購読に関するご意見をいただきました。また、(株)ニュースコム様のご厚意による新聞のご恵贈(毎週木曜日に学級数分)も終わってしまいました。こうした2つの理由から、本年度は学校予算で、山梨日日新聞の毎週木曜日版を定期購入し、3年生以上の学級向けに配付しています。木曜日は、山日小中学生新聞「週刊こぴと」が折り込まれていることから、児童にとってより有効と考えました。毎日の定期購読には、予算や古新聞の保管方法等といった課題があります。こうした状況をご理解いただくと共に、ご家庭での購読についてもご検討をお願いできれば幸いです。

アンケートの質問の適切さに関わるご意見

1：ノートにめあてがかいてあるので大切にしているのかなと思うが、振り返りについてはノートからはわからない。授業参観で先生が最後にまとめて振り返っていたので大切にしているのかなと思った。

13に関しては、参観日、懇談会でしか判断できません。

14について、連絡帳やスクリレ、安心メールももちものや連絡事項であり、子どもの話も学校の一部のこの子どもの考えなので、これらだけでは学校の主な状況はわからないと思う。

(学校より)

これらのご意見を伺い、設問のあり方について再検討すべきと考えました。ご指摘をいただきありがとうございました。

欠席中の学習に関わるご意見

理解できていない部分や、欠席後の登校時には担任の先生が丁寧に授業の内容を教えてください、置き去りにしない教育をしてくださっていると感じます。ありがとうございます。

体調不良で休んだ際、オンラインで授業を受けさせて頂けて勉強が進みました。ありがとうございます。

出席停止で欠席した時にタブレットを活用してオンラインで授業へ参加させていただき、ありがたいです。

いつも子どもたちに対して熱心なご指導ありがとうございます。出席停止中にオンライン授業をしていただいたことが、本当にありがたかったです。今後も変わらぬご指導よろしくお願いします。

(学校より)

昨年度も「長期の休みが確定した場合の学習の保証について検討していただけるとありがたいです。」とご意見をいただきました。昨年度は新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖が何度か実施されましたので、学習については多くの保護者の皆さまが心配されたことと拝察します。本年度は、このご意見をふまえ、2年生以上では、欠席が連続する心配がある場合は一人一台PCを使ってオンラインで家庭からの授業参加等をご家庭に打診・相談させていただいております。その際は、お子さんの心身の健康状態への配慮を何よりも優先いただきながら、担任やお子さんと相談の上、オンライン参加についてお考えください。なお、欠席明けに登校した際は、お子さんの健康状態や本人の休み時間の過ごし方の希望等を考慮しながら、欠席中の授業内容の習得について支援してまいります。

子供の相談窓口に関わるご意見

友達や家族、先生にも言わず悩む子もいるのかなと考えた時に、学校から定期的に配られる電話相談等がありますが、家に固定電話の少なくなってきた今、個人の携帯電話もまだ持っていない小学生は果たして利用できるのかと心配になりました。例えば学校で定期的に子供達にアンケートを書いてもらうとか、気軽に相談できる場所が「子供達に分かりやすく」あると良いのかなと思いました。

(学校より)

ご意見は、ごもっともかと気づかされました。まずもって校内で、担任以外にも、児童が相談しやすいと思える場所や機会を設定するよう努力を続けてまいります。現在も、年3回のアンケートを実施するとともに、保健室に「心と体の相談コーナー」を設け、養護教諭をはじめ学習支援員・スクールサポートスタッフなどが相談を受けています。また、内容によっては、スクールカウンセラーや児童相談所・教育相談支援センターと連携をしています。さらに加えて、このご意見を根拠に、機会を捉えては携帯電話をもっていない児童でも「気軽に相談できる場所」を「分かりやすく」紹介できる方法について「電話相談」等を実施している関係機関に検討をお願いしてまいります。なお、保護者や教職員の目が届きにくい時間や場所での児童間のトラブルやお子さんの悩みなどお気づきでしたら、学校までお知らせください。

次のご意見は、学校へのメッセージとして受け取らせていただきます。

いつもありがとうございます。(同様のお声を多数いただきました。)
いつも丁寧に子ども様の様子に寄り添っていただき、ありがとうございます。校長先生を中心にとてもよい学校であると感じています。
学校が子ども達の楽しい学校生活を考え工夫されていることが伝わります。これからも親として少しでもご協力できればと思います。
毎日楽しく学校に通っていて、安心して送り出すことができます。先生方のご指導ご支援のお陰です。ありがとうございます。
友達とよりよい関係を築き、充実した楽しい学校生活を送れるような環境をつくってくださっていることに感謝いたします。ありがとうございます。
先生方にいろいろなことを安心して相談できる環境が整っていて、全員で支えてくださる様子がよくわかり、本当に感謝しています。
全員で成長を支えてくれている環境に本当に感謝しています。いつもありがとうございます。
細部に渡り、温かいご指導をありがとうございます。息子は学校が大好きで、毎日とても楽しみに登校しております。これも先生方のご指導のおかげです。これからもよろしくお願い致します。
学校にスムーズに行けない日に先生方にご迷惑をおかけして申し訳なく感じております。お忙しい中、優しく対応していただき、ありがたく感謝しています。ありがとうございます。
いつもお世話になっております。先生方のあたたかく丁寧なかかわりやご指導により、幼稚園ロスを乗り越え、楽しく通っています。「恥ずかしくて言えないけど先生のこと大好きなんだ」とよく話しています。ありがとうございます。
友人関係でトラブルがあった時に迅速に対応して下さいました。ありがとうございました。引き続き見守っていただけたらと思います。


(学校より)

「明日からまた、子どもたちのために頑張ろう!」と、勇気をいただけるようなお声をお寄せいただきました。ご家庭と学校の相互理解による好循環が、児童へ好影響を与えることは確かだと思います。本当にありがとうございます。

以上です。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

追記

- ① 学校運営協議会委員の島津はるみ様より「学校たより」へご寄稿いただきました。ご紹介します。
「運動会を見せていただきました。リレーの走る姿に、表現の豊かな表情、しぐさに勇気をもらいました。そして、見ているうちに涙がこぼれてきたのです。素晴らしいものを見た時も人は涙するのですね。みなさん、感動をありがとうございました。」
- ② 「学校における働き方改革」は、教育現場における全国的な課題としてマスコミなどでも取り上げられています。本県におきましても、11月10日付で、保護者・地域の方に向けて、山梨県教育委員会「教育長からのお願い」が発出されました。こちらはスクリーンで保護者の皆さまにご案内しましたが、本校におきましても、こうした「働き方改革」を推進していくことは喫緊の課題となっています。保護者負担軽減、児童への行き過ぎた期待の反省等と併せ、「楽しみがゆきわたる～学びが楽しい学校～」の具現に向け、持続可能な学校運営を心がけてまいります。変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

山梨県教育委員会教育長からのメッセージ (YouTube) ⇒  (11月10日付文書) ⇒ 